

# 3rd Adaptive Stand-up Tennis Tokai Tournament

## 第3回障がい者立位テニス東海大会

### 報告書

#### Report




General Incorporated Foundation  
JAPAN ADAPTIVE STAND-UP TENNIS ASSOCIATION

一般社団法人 日本障がい者立位テニス協会

2026.5.18

## 第3回障がい者立位テニス東海大会 実施概要

- **日 時** 実施日：2026年4月26日(日)  
受付開始 9:30～、開会式 10:00～、試合開始 10:30～
- **場 所** 静岡県 有度山総合公園運動施設テニスコート（屋外オムニコート10面 No.1～10使用）  
静岡県静岡市駿河区小鹿1883-4
- **主 催** 一般社団法人 日本障がい者立位テニス協会（JASTA）  
東海大会実行委員会 
- **後 援** 静岡県・静岡市・三幸株式会社
- **特別協賛** BNPパリバ・グループ
- **協 賛** ヨネックス株式会社
- **協 力** 特定非営利活動法人デポーム
- **グレード** JASTA 1,000 point
- **大会委員長** 柴谷 健 (JASTA)
- **競技委員長** 中川勝就 (公益財団法人日本プロテニス協会)

- **参加資格** 身体障害者手帳を保有し、肢体に障がいがある方  
（四肢のいずれかの切断、欠損、片麻痺、四肢麻痺、先天性の奇形）
- **ク ラ ス** PST-1・PST-2・PST-3・PST-5
- **出場者数** PST-1 = 7名・PST-2 = 7名・PST-3 = 4名・PST-5 = 4名
- **参 加 費** 5,000円 (一般)・3,000円 (JASTA PLAYERS CLUB会員)
- **競技種目** シングルス
- **審判方法** セルフジャッジ
- **競技方法** PST-1・PST-2 = トーナメント方式  
JTA テニスルール  
PST-3・PST-5 = ラウンドロビン方式  
・PST-3は2バウンド返球  
・PST-5は規定のコートサイズ、オレンジボール使用、2バウンド返球  
それ以外はJTA テニスルールに準じる
- **使 用 球** PST-1・PST-2・PST-3 = ヨネックス ツアープラチナム  
PST-5 = ヨネックス マッスルパワーボール30(オレンジボール)
- **表 彰** 各クラス 優勝・準優勝
- **来場者数** 約40名

## 開催へのご支援お礼

この大会を大きな事故もなく無事に終わられました事を皆さまにご報告し、ご支援頂きました全ての皆様に心より感謝を申し上げます。当日は天候も申し分ないテニス日和となり、出場された 22 名の選手は存分に実力を発揮されました。

今大会は、静岡県での弊協会の初めての活動実績となりました。会場となる有度山総合公園の指定管理会社である三幸株式会社様のお取り計らいにより実現できましたことをお礼申し上げます。静岡県と「パラスポーツの聖地」を目指すとの方針を打ち出されている静岡市にもご後援を賜りました。弊協会の活動が市内でのパラスポーツ認知向上につながることを期待しています。また、1 社から特別協賛、1 社から物品協賛、1 団体からご協力を頂きました。協力を名乗り出てくださいました運営スタッフの皆様には、設営撤収やボールパーソン、交流イベントの運営をお手伝い頂けてとても助かりました。

立位テニスの国際的な認知は向上を続けています。この競技の国際大会は 2024 年から国際テニス連盟 (ITF) の後援を得ています。グランドスラム大会の中でも多様なテニスを紹介する動きは加速しており、1 月に開催される全豪オープンの All Abilities Day では立位テニスのショーケースが行われ、9 月には全米オープンで招待選手による Pra Standing Invitational (招待試合) が行われています。昨年はアジア地域から 2 人、弊協会所属選手が選出されて出場しました。

弊協会も、この競技をパラリンピック種目入りやプロ化も目指せる夢のある競技に育てていけるよう、地道に活動を続け、国内での競技の普及発展に努めて参ります。今後も立位テニスにご期待ください。

第 3 回障がい者立位テニス東海大会  
大会委員長

柴谷 健 Ken SHIBATANI



### 今大会運営にご協力頂いた皆さま

<大会運営スタッフ> 敬称略、50 音順

大会本部

JASTA PARTNERS CLUB：雨宮郁夫・神崎千鶴・坂倉陽子・中川勝就・成島代志子

大会ドクター

JASTA PLAYERS CLUB：太田詔 (出場選手兼務)・特定非営利活動法人デポーム派遣ドクター

ボールパーソン・受付・運営

JASTA PARTNERS CLUB：今村正幸・庄内久美・柴谷玲子・宮下守弘

IPSTA Asia：成田香公

一般：今村佳奈子・海野真年・鈴木康司・鈴木菊乃・関谷麻理子・安井克

心よりご協力に感謝申し上げます。

# 会場アクセス

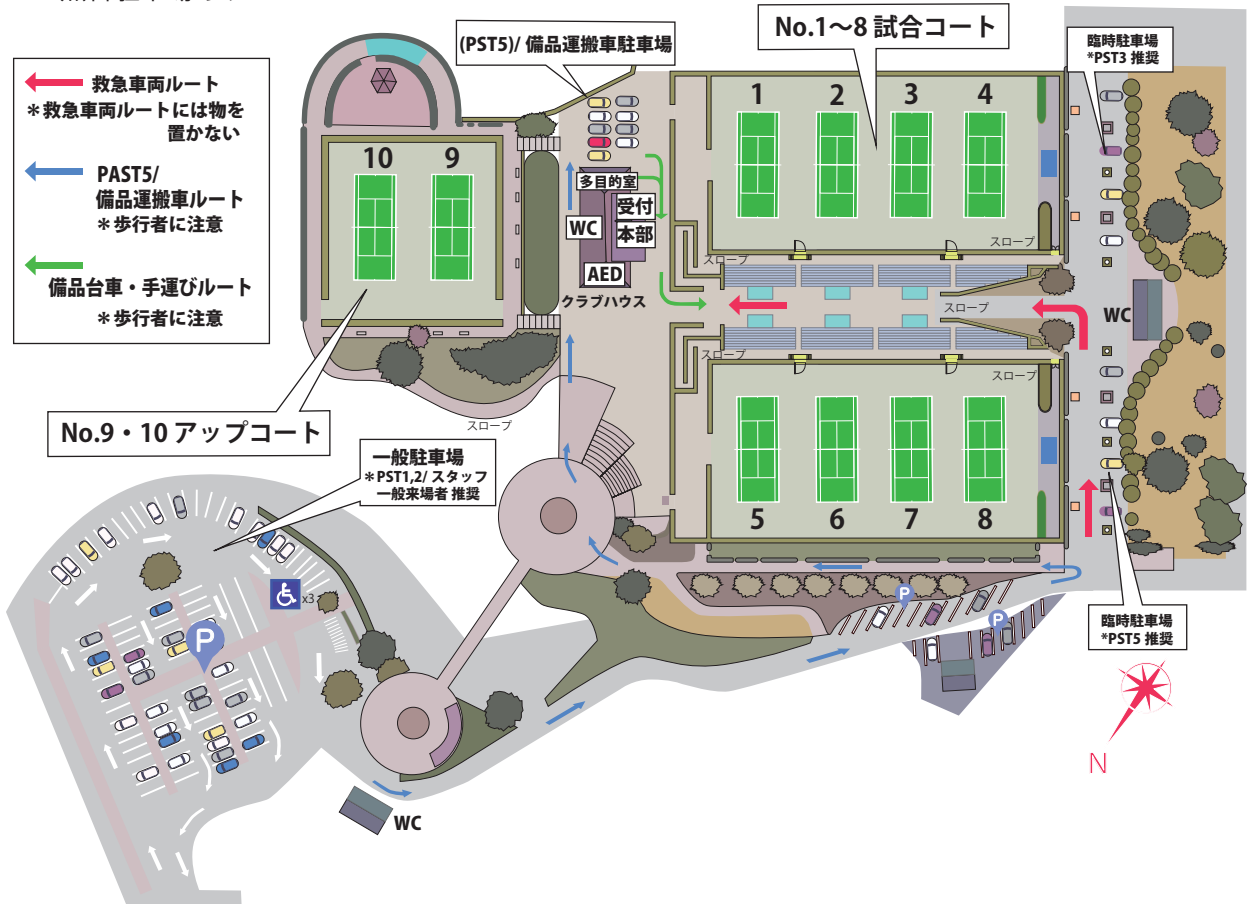
## <静岡県 有度山総合公園運動施設テニスコート>

### 🚗 電車

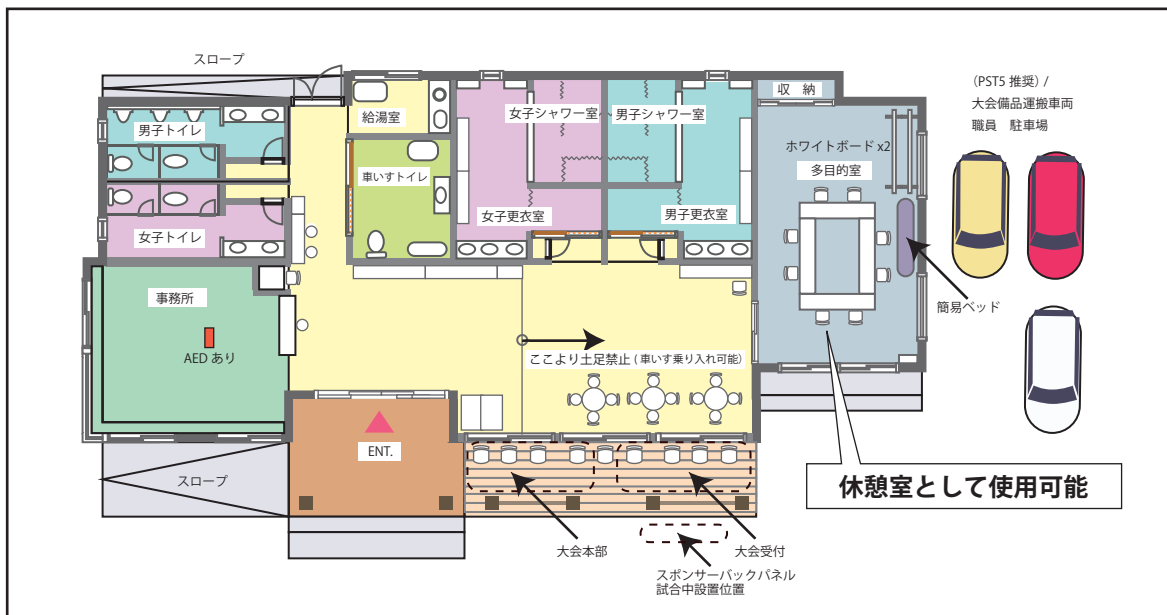
JR 東静岡駅南口からしずてつバス「日本平動物園」行き「動物園入口」下車、徒歩 15 分  
JR 東静岡駅からタクシーで 10 分

### 🚗 車

無料駐車場あり



## <クラブハウス内部>



# スケジュール

- 2025年7月13日 ● 2026年は愛知県では会場が取れない可能性があるとの情報を得る  
・愛知県でアジア競技大会開催が予定されているため
- 2025年9月下旬 ● 愛知県の口論義運動公園より来年度の次年度施設優先利用案内を受領
- 2025年10月6日 ● 口論義運動公園へ優先利用申請書を郵送にて提出
- 2026年1月6日 ● 口論義運動公園より利用不可通知を受領  
・三幸株式会社に静岡県での会場確保について相談
- 2026年1月17日 ● 日程と会場が決定
- 2026年3月中旬 ● 大会専用 web ページ開設  
・予算書・大会要項を策定  
・協賛金、商品協賛、パンフレット広告協賛の依頼開始  
・関係各所に大会概要を通知し、情報拡散協力を依頼、スタッフ募集開始  
・静岡県と静岡市に後援名義使用許可申請  
・キービジュアル作成、ポスターとチラシを発注  
・当日の傷病受け入れを済生会総合病院に依頼
- 2026年3月20日 ● 大会要項リリース、出場申し込み受付開始
- 2026年3月1日 ● 協賛、物品協賛決定
- 2026年4月13日 ● 出場申し込み締め切り  
・ドロー会議  
・表彰用品発注  
・協賛バックバナー発注、運営用品購入
- 2026年4月18日 ● ドロー発表・制作物発注  
・プログラム印刷入稿  
・当日配布資料・サイン作成  
・保険加入・お弁当予約・参加賞発注
- 2026年4月20日 ● 協賛品、表彰用品受領  
・配布・掲示用資料出力・大会用品検品、当日案内を関係者にメール
- 2026年4月24日 ● 搬入物仕分け・積み込み
- 2026年4月25日 ● 実行委員長と搬入車両担当者は前日に静岡市入り
- 2026年4月26日 ● 大会当日
- 2026年5月1日 ● 大会パンフレットを協賛各社へ送付  
・借り受け品の返却
- 2026年5月2日 ● リザルトを公開  
・出場選手の JASTA ポイントを反映したランキングをリリース  
・報告書・収支報告書作成・選手・協賛・協力の各所へ報告
- 2026年5月18日 ● 大会報告書作成  
・印刷へ回し、完成後に関係各所に郵送

# ドロー・結果 PST-1

Photo by JASTA

プレゼンター：柴谷健（東海大会委員長）



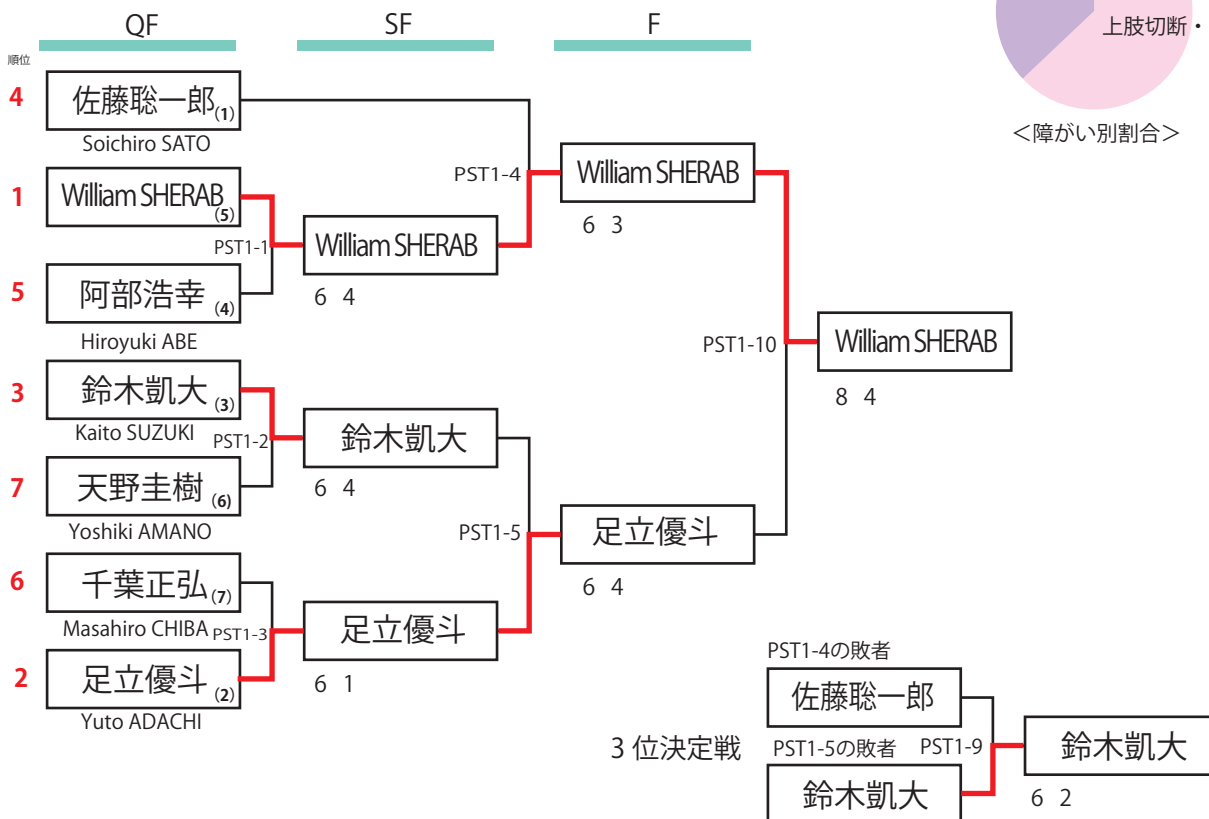
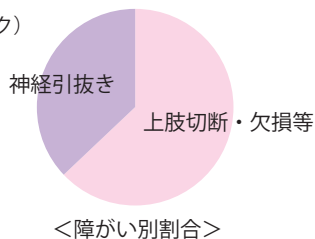
優勝 William SHERAB 選手（東京都）



準優勝 足立優斗選手（兵庫県）

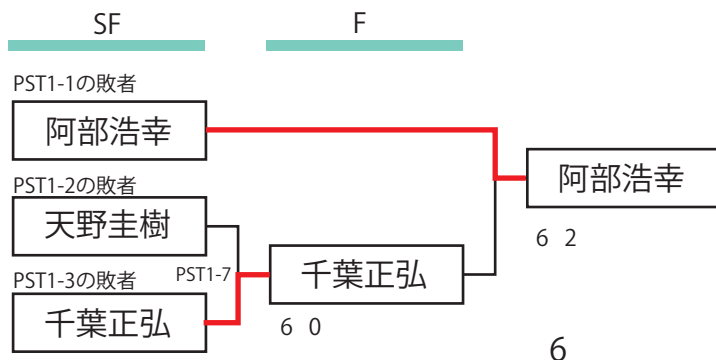
## PST-1 Main Draw

本戦・3位決定戦：1セットマッチ（デュースあり）（ゲームカウント6-6になったら7pタイブレーク）  
 本戦決勝：8プロセットマッチ（デュースあり）2ゲーム差を付けて8ゲーム先取した方が勝利、  
 ゲームカウントが8-8になった場合は7Pタイブレークを適用し9-8で勝敗が決まる



## PST-1 Consolation Draw

全試合：1セットマッチ（デュースあり、ゲームカウント6-6になったら7pタイブレーク）



# ドロー・結果 PST-2

Photo by JASTA

プレゼンター：柴谷健（東海大会委員長）



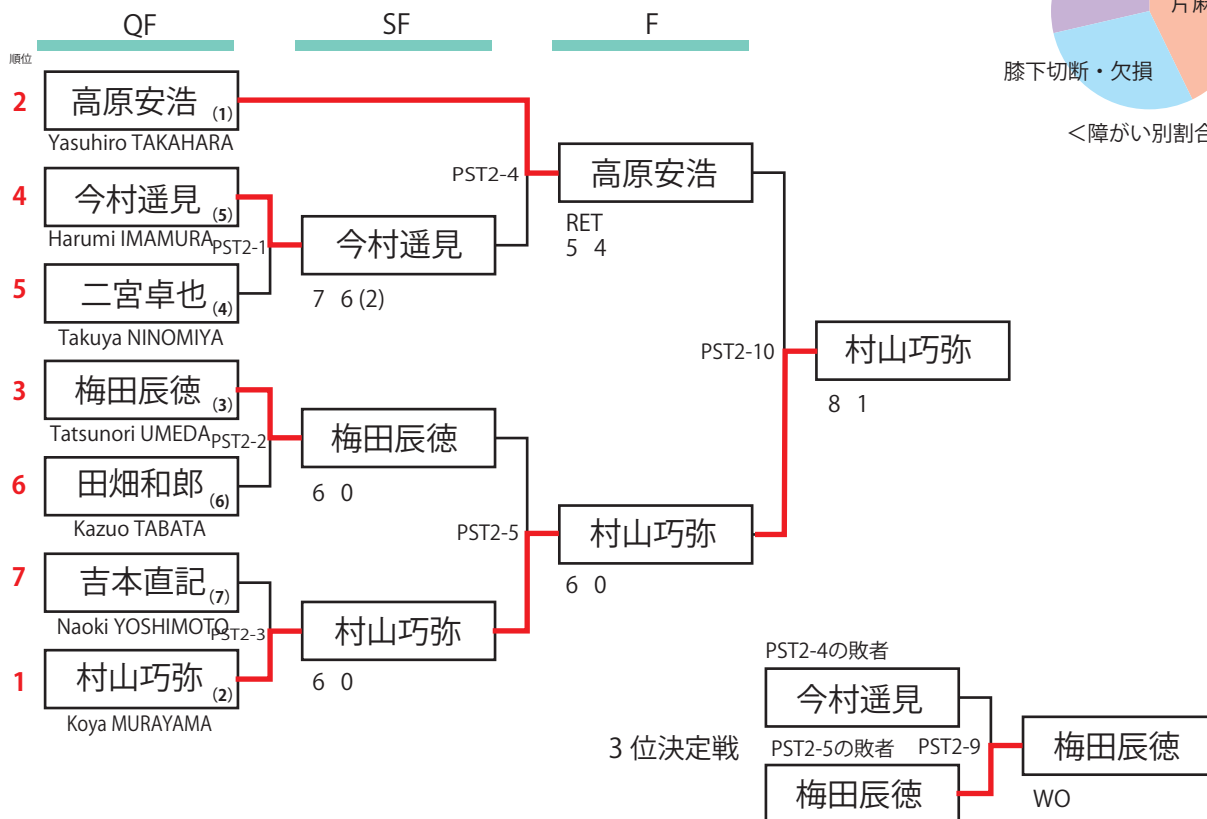
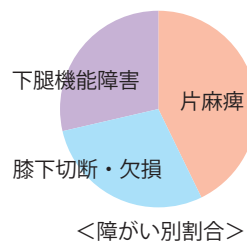
優勝 村山巧弥選手（神奈川県）



準優勝 高原安浩選手（東京都）

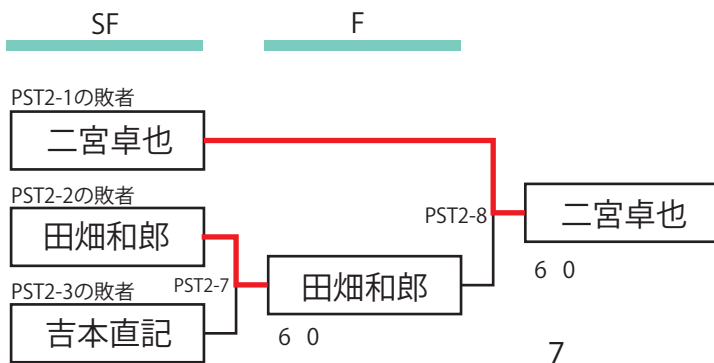
## PST-2 Main Draw

本戦・3位決定戦：1セットマッチ（デュースあり）（ゲームカウント6-6になったら7pタイブレーク）  
 本戦決勝：8プロセットマッチ（デュースあり）2ゲーム差を付けて8ゲーム先取した方が勝利、  
 ゲームカウントが8-8になった場合は7Pタイブレークを適用し9-8で勝敗が決まる



## PST-2 Consolation Draw

全試合：1セットマッチ（デュースあり、ゲームカウント6-6になったら7pタイブレーク）



# ドロー・結果 PST-3

Photo by JASTA

プレゼンター：柴谷健（東海大会委員長）



優勝 波田野裕介選手（神奈川県）

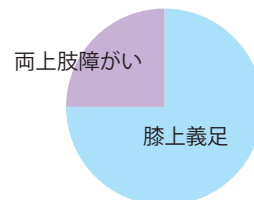


準優勝 岸 俊介選手（神奈川県）

## PST-3 Main Draw

全試合：1セットマッチ（デュースあり）（ゲームカウント6-6になったら7pタイブレーク）  
総当り戦の為、コンソレーション無し

2者間で勝ち数が同じ場合 = 直接対決の勝者が上位  
3者間で勝ち数が同じ場合 = ゲーム取得率が高い方が上位  
(ゲーム取得率 = 総取得ゲーム数 ÷ 総ゲーム数)



<障がい別割合>

	Shunsuke KISHI 岸 俊介	Satoshi OHKUBO 大久保諭	Susumu KANZAKI 神崎 進	Yusuke HATANO 波田野裕介	勝負	順位
岸 俊介		⑥ 0 <sup>PST3-1</sup>	⑥ 0 <sup>PST3-3</sup>	6 7 <sup>PST3-5</sup> <sub>(3)</sub>	2—1	2
大久保諭	0 6		⑥ 3 <sup>PST3-6</sup>	0 6 <sup>PST3-4</sup>	1—2	3
神崎 進	0 6	3 6		1 6 <sup>PST3-2</sup>	0—3	4
波田野裕介	⑦ 6 <sub>(3)</sub>	⑥ 0	⑥ 1		3—0	1

# ドロー・結果 PST-5

Photo by JASTA

プレゼンター：柴谷健（東海大会委員長）



優勝 関谷 譲選手（茨城県）

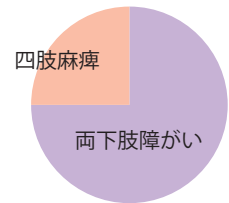


準優勝 太田 詔選手（千葉県）

## PST-5 Main Draw

全試合：1セットマッチ（デュースあり）（ゲームカウント6-6になったら7pタイブレーク）  
総当たり戦の為、コンソレーション無し

2者間で勝ち数が同じ場合 = 直接対決の勝者が上位  
3者間で勝ち数が同じ場合 = ゲーム取得率が高い方が上位  
(ゲーム取得率 = 総取得ゲーム数 ÷ 総ゲーム数)



<障がい別割合>

	Yusei AOKI	Sho OHTA	Kana OHWAKI	Joe SEKIYA	勝負	順位
青木祐成	青木祐成	太田 詔	大脇佳奈	関谷 譲	1—2	3
太田 詔	⑦ 5		⑥ 1 <sup>PST5-6</sup>	1 6 <sup>PST5-4</sup>	2—1	2
大脇佳奈	3 6	1 6		3 6 <sup>PST5-2</sup>	0—3	4
関谷 譲	⑥ 4	⑥ 1	⑥ 3		3—0	1

# 開会式

Photo by JASTA & Naoki YOSHIMOTO



本部スタッフは白ポロシャツ、運営スタッフは黄色のビブスを着用



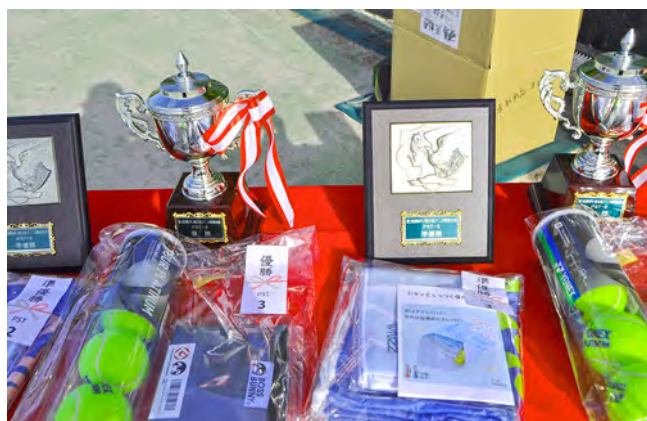
競技説明は、競技委員長の中川勝様よりご説明いただいた

# 表彰・閉会式

Photo by JASTA & Naoki YOSHIMOTO



<入賞者>PST-1、PST-2、PST-3、PST-5の優勝者と準優勝者（PST-1の優勝者は先に表彰を済ませた）



優勝者にはカップ、準優勝者には盾を贈呈



入賞者のスピーチ、PST-2優勝の村山選手からは今年度から YONEX 用具契約の報告もあった



<大会委員長>  
JASTA 柴谷健よりお礼の言葉

# Photo Gallery

Photo by JASTA & Naoki YOSHIMOTO



大会バナーとスポンサーバナー



大会会場は運営も観戦もしやすいレイアウト



大会本部による選手呼び出し



大会本部



オーダーオブプレイの貼り出し



大会受付とランチ配布



異なるボールを使用するコート間にはジュニアネットで防球



特定非営利活動法人デポームより派遣いただいたドクター

# Photo Gallery

Photo by JASTA & Naoki YOSHIMOTO



セルフジャッジのため、選手本人がゲームカウンターをめくる



選手と運営スタッフには「のり弁当」を支給



大腿義足の選手の足部には ottobock Challenger が人気



PST-5 クラスにはボールパーソンが付いた



静岡県議会 山本彰彦議員も視察に訪れた



試合間にリラックスして昼食をとる



10代~70代の幅広い年齢層の選手が出場



<交流イベント>全試合終了後に実施「選手とラリー」  
立位テニスを知って頂く目的で誰でも参加可能なイベントを併催

# Photo Gallery

Photo by JASTA & Naoki YOSHIMOTO



JASTAのマスコット ティラノザウルスが盛り上げる



大会キービジュアルは前回大会優勝者たち



<PST-1>阿部浩幸選手（静岡県）・右腕神経叢引き抜き損傷



<PST-1>天野圭樹選手（愛知県）・両上肢形成不全



<PST-1>佐藤聡一郎選手（神奈川県）・右腕神経叢引き抜き損傷



<PST-1>鈴木凱大選手（群馬県）・先天性左上肢機能障害



<PST-1>千葉正弘選手（神奈川県）・右前腕切断



<PST-2>梅田辰徳選手（岐阜県）・下肢全ての指を失ったもの

# Photo Gallery

Photo by JASTA & Naoki YOSHIMOTO



<PST-2>今村遙見選手（東京都）・右片麻痺



<PST-2>田畑和郎選手（東京都）・左片麻痺



<PST-2>二宮卓也選手（東京都）・左下腿切断



<PST-2>吉本直記選手（神奈川県）・左下肢機能障害



<PST-2>大久保諭選手（千葉県）・左大腿切断



<PST-3>神崎 進選手（千葉県）・四肢関節拘縮症



<PST-5>青木祐成選手（東京都）・四肢麻痺



<PST-5>大脇佳奈選手（愛知県）・二分脊椎症

## 収入の部

項目	金額(円)	内容
参加費	66,000	3,000円／1人、22名
特別協賛金	200,000	1社様より (BNPパリバ・グループ様)
広告協賛金	0	
寄付	154,200	特定非営利活動法人デポーム、個人4名 + 募金
協会負担金	20,664	収入より支出が上回る分を負担
収入合計	440,864	

## 支出の部

項目	金額(円)	内容
会場使用料	0	(会場使用料は三幸株式会社による100%免除)
大会使用球費	2,475	(一部協賛)
印刷費	39,138	A4チラシ400枚、A2ポスター30枚、A4パンフレット100部 A4報告書100部
デザイン版下作成費	25,000	R-WORKS
会場装飾費	15,862	バックボード作成
配布資料制作費	3,000	対戦表、トーナメント表
会場装飾備品費	0	既存流用
オレンジコート作成備品費	3,000	50mm巾マスキングテープ
事務用品費	1,539	マグネットシート他
表彰用品費	39,212	優勝カップ4点、準優勝盾4点、副賞
参加賞費	7,524	ヨネックス グリップテープ
送料・通信費	14,515	チラシ、ポスター、資料の発送費
衛生・救護用品費	0	既存流用
会議費	3,450	会議室利用料、喫茶代
選手・運営スタッフ昼食費	28,340	お弁当 + 水
運営スタッフ謝金費	37,000	3,000円×9名、5,000円×3名
旅費交通費	97,173	高速料金、ガソリン代
イベント保険費	4,970	60名(選手、スタッフ、イベント参加者)想定
大会本部経費	60,000	競技委員長、競技副委員長、大会メディカル経費
本部宿泊費	30,200	3名
マニュアル・資料作成費	25,000	space design studio arc
雑費(※)	3,466	駐車場代、振込手数料
支出合計	440,864	

収入合計 440,864円 - 支出合計 440,864円 = 0円

※ 収入より支出が上回る場合は協会負担金を拠出し収支がプラスマイナス0になるようにします。余剰金が発生した場合は協賛各社さまとの取り決めにより弊協会活動費に算入します。

# The 3rd Champions & Runners 第3回チャンピオンと準優勝者

Photo by JASTA & Naoki YOSHIMOTO



PST-1 優勝 左手の一部欠損のセラブ ウィリアム選手（東京都）



PST-1 準優勝 左上肢引き抜き損傷の足立優斗選手（兵庫県）



PST-2 優勝 左片麻痺の村山巧弥選手（神奈川県）



PST-2 準優勝 左下腿義足のの高原安浩手（東京都）



PST-3 優勝 左大腿義足の波田野裕介選手（神奈川県）



PST-3 準優勝 左大腿義足の岸 俊介選手（神奈川県）



PST-5 優勝 両下肢機能障害の関谷 譲選手（茨城県）



PST-5 準優勝 両下肢機能障害の太田詔選手（千葉県）